



各 位

2025 年 5 月 14 日

会 社 名 株 式 会 社 精 工 技 研
代表者名 代表取締役社長 上野 淳
(コード番号 6834 東証スタンダード)
問合せ先 取締役 管理部長 斎藤 祐司
(TEL. 047 - 388 - 6401)

2025 年 3 月期通期連結業績予想と実績値との差異 及び 中期経営計画の修正に関するお知らせ

2024 年 11 月 11 日に公表いたしました 2025 年 3 月期通期連結業績予想と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、お知らせいたします。

併せて、2022 年 5 月 17 日に公表した中期経営計画（2023 年 3 月期～2027 年 3 月期）を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想値と実績値との差異について

2025 年 3 月期通期連結業績予想値と実績値との差異（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	18,000	2,000	2,050	1,500	164.25
実績値 (B)	19,982	2,817	2,979	2,225	245.34
増減額 (B－A)	1,982	817	929	725	
増減率 (%)	11.0	40.9	45.3	48.3	
(ご参考) 前期実績 (2024 年 3 月期)	15,785	1,052	1,269	761	83.42

2. 連結業績予想値と実績値との差異の理由

2025 年 3 月期の連結売上高は、2024 年 11 月 11 日に修正した業績予想値から 1,982 百万円上回る結果となりました。精機関連では、車載センサー関連部品や電気自動車向けのインバーター用部品の売上高が業績予想を上回りました。光製品関連では、データセンターで使用される光通信用品の需要が想定以上に強く、光コネクタや、光コネクタの製造機器・検査装置の売上高が業績予想を上回りました。さらに、海外子会社の決算期末となる 2024 年 12 月末日の為替レートが想定為替レートから大きく円安に振れた（想定為替レート 1US\$: 140 円 / 実際為替レート 1US\$: 158.17 円）ため、光製品関連の売上高が業績予想を上回る結果となりました。

損益面では、比較的収益性の高い製品の売上高が伸びたほか、成形品の売上増加により生産効率が向上し、粗利率を改善させることができました。業績連動のインセンティブ支給等で販売費及び一般管理費が増加したものの、営業利益は 817 百万円、経常利益は 929 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は 725 百万円、それぞれ前回発表予想を上回る結果となりました。

3. 中期経営計画の修正について

(1) 修正内容

中期経営計画「マスタープラン 2022」2026 年度（最終年度）経営目標

	連結売上高	連結営業利益	営業利益率
前回発表計画 (A) (2022 年 5 月 17 日)	百万円 25,000	百万円 2,500	% 10.0
今回修正計画 (B)	25,000	3,300	13.2
増減額 (B) - (A)	0	800	
増減率 (%)	—	32.0	
(ご参考) 前期連結実績	19,982	2,817	14.1

(2) 修正理由

2022 年度からスタートしている 5 ヶ年の中期経営計画「マスタープラン 2022」は、3 年が経過し、残り 2 年となりました。

精機関連セグメントは、軸足を置く自動車関連市場が、中国メーカーの台頭や日系メーカーの認証不正問題等により勢いを欠く中、2024 年度下期に株式会社エムジーを連結子会社化し、売上の拡大を図りました。一方の光製品関連セグメントは、2024 年度に入るとデータセンター関連需要が高まり、光コネクタや光コネクタの製造機器・装置の売上が急伸しました。この結果、中期経営計画 3 年目の 2024 年度の連結売上高は 19,982 百万円、連結営業利益は 2,817 百万円となり、連結営業利益においては当初の計画 2,500 百万円を 2 年前倒しで達成いたしました。

米国の関税政策や為替の変動、世界各所における地政学的なリスク、IT 関連市場の環境変化の加速等、先行きの不透明感があるなか、足元では、光製品関連の需要が強い状態が継続しています。

こうしたことを受けて、中期経営計画「マスタープラン 2022」の最終年度となる 2026 年度の連結営業利益目標を、当初の計画 2,500 百万円から 800 百万円増額し、3,300 百万円に上方修正いたします。なお、連結売上高目標は 25,000 百万円をそのまま維持することといたします。

以 上